

日蓮大聖人の言葉から学ぶ：一切衆生に佛生あり  
法華經を持たば必ず成仏すべし

心を結ぶ本泉寺通信

# Musubi

Vol.08  
2024  
お盆号

蒔かぬ種は生えぬ  
盂蘭盆施餓鬼大法要

本泉寺開山四百年  
慶讃浄財奉納者芳名

星の神様 妙見くんに聞いた  
干支九星吉凶予報

好評連載中  
本泉寺見仏記

本泉寺のホットな情報をお届け  
お寺の掲示板

【特集】

十二支の秘密



令和六年度

# 盂蘭盆施餓鬼大法要

法要日 八月三日（土）

時間 午後二時より

卒塔婆 一体 四千円

経木塔婆 一体 五百円

盂蘭盆施餓鬼大法要に於いて経木塔婆供養を執り行います。ご希望の方は寺務所までご連絡下さい。



※本年新盆をお迎えになるご家族は必ずご参列ください  
※お塔婆建立をご希望の方はお早めにお申し込みください

## ● 時かぬ種は生えぬ

仏教の言葉に「善根功德」という言葉があります。

善根とは善を樹木の根に例えた言葉で、功德とは善を積んで得られるという意味。

樹木を支える根は土中から栄養を得て枝葉を豊かに茂らせます。

これをそれぞれの家族を当てるめると、先祖は根となり、枝や葉は子孫となります。

樹（家）を支える根（先祖）に肥料（追善供養）を施せば枝や葉（子孫）は豊かに茂るのです。

「善根功德」という仏教の言葉は現代では「時かぬ種は生えぬ」ということわざとして残っていますが、本来は先祖代々、亡き父母の報恩に感謝し、追善供養する事なのです。

お盆には家族でお参りをしてご先祖様に感謝を伝えましょう。





# 本泉寺開山四百年 慶讚浄財奉納者芳名

令和6年3月

三口 八潮市 恩田一夫 様 二回目 計六口

三口 八潮市 恩田 操 様 二回目 計四口

一口 墨田区 恩田 博 様 一回目 計一口

勸募期間 令和九年十月十二日まで  
勸募金額 一口壹万円より

引き続き皆様のご協力をお願い致します。

## 奉納者芳名

十三口 八潮市 恩田勝廣 様 二回目 計十三口

四口 三郷市 恩田孝一 様 二回目 計四口

八口 新宿区 平野猛史 様 一回目 計八口

三口 八潮市 恩田一夫 様 一回目 計三口

三口 八潮市 滝口勝四郎様 一回目 計三口

石川塗装株式会社

三口 越谷市 石川智淳 様 一回目 計三口

二口 足立区 恩田明広 様 一回目 計二口

一口 朝霞市 川端 登 様 一回目 計一口

一口 葛飾区 恩田富美枝様 一回目 計一口

一口 三郷市 山後和義 様 一回目 計一口

一口 八潮市 滝口義則 様 一回目 計一口

一口 八潮市 恩田 操 様 一回目 計一口

一口 八潮市 緒方智恵子様 一回目 計一口

一口 八潮市 津谷一安 様 一回目 計一口

株式会社サンライズ

一口 富士見市 杉山 淳 様 一回目 計一口

一口 三郷市 藤原 守 様 一回目 計一口

合計 四十六口

令和六年三月一日現在

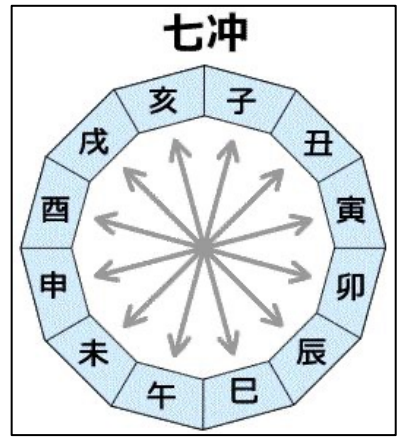
前号では十二支に於ける「吉」の関係性を見てきました。今号ではその逆とも言える「凶」の関係性を見ていきます。

## ☆冲（おき）

冲とは十二支が相対する関係にあるものを言い互いに剋する関係です。十二支を円形に配置した時、七番目（自分から見た時に正反対の場所）に位置する干支を指す事から『七冲』や『七つ目』とも呼ばれます。

この関係を使用する事は大凶とされ、自分の生年月日の十二支（命式）に冲がある場合は「腹部弱し」と言われ、体が弱かったりします。

『子午の冲』や『卯酉の冲』は特に注意が必要とされる関係なので命式に冲がある場合は気を付けた方が良いでしょう。



## ☆刑（けい）

刑とは十二支を剋する（攻撃する）四つの関係を表し、それぞれ

- 『恃勢刑』じせいけい
- 『無恩刑』むおんけい
- 『無礼刑』ぶれいけい
- 『自刑』じけい

と呼ばれています。

凶作用は冲より弱いとされますが要注意です。

『恃勢刑』は丑・未・戌の三つの支の関係性を表し、この関係が命式の中にあると、自らの勢いに任せて無闇矢鱈に猛進し挫折や失敗を招くようになります。

# 亥 戌 酉 申 未 午 巳 辰 卯 寅 丑 子

特に女性の命式にある場合は、結婚や妊娠中に事故が起きやすいので要注意となります。

『無恩刑』は寅・巳・申の三つの支の関係性を表し、この関係が命式の中にあると、冷酷無情で義理を軽んじ、人から受けた恩を感じないようになります。

また、上司から迷惑を掛けられたり、部下や目下からは裏切られたり、と嫌な目に遭いやすいと言えるでしょう。

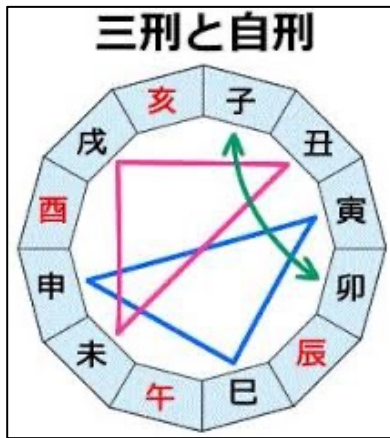
『無礼刑』は子・卯の二つの支の関係性を表し、この関係が命式の中にあると、氣質が粗暴で礼儀作法をわきまえないので自然と人より疎外敬遠されます。そのため、自分からも距離を置くようになります。

女子の命式にこの刑があると、夫婦関係が上手く行かず、母子の間にも争い事が起きやすくなります。

『自刑』とは前述した三つの刑に当てはまらない辰・午・酉・亥の関係性で、勢いが強い同じ十二支同士の関係です。（辰と辰、午と午など）

この関係が命式にあると、終始一貫性に欠け、自尊心が乏しく、我が強く無理をして失敗するようになります。

自分が自分を苦しめるのでしんどいです。





# 【特集】十二支の

# 秘密



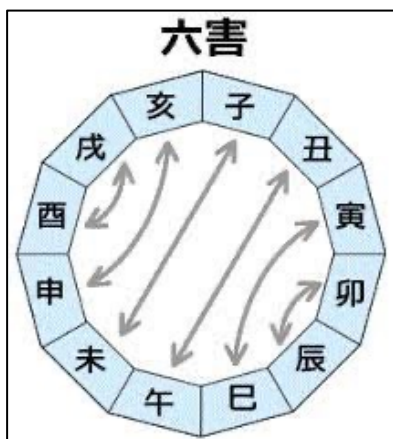
## ☆害(がい)

害とは別名『六害』と呼ばれ、十二支のうち二つが互いに分離したり剋し合う形の関係性を言います。

この害が自分の命式にあると、鬭争心が強く、肉親との仲違いがあっても助けを得られず、物事を妨げられたり、思い通りに事を運ぶことが出来なくなります。

また、恩を仇で返す等のらりくらの人生となります。

しかし、害は『冲』や『刑』より凶作用は薄いとされています。



## ☆破(は)

破とは別名『支破』と呼ばれ、十二支の四つ目と十目の関係性を表しており『四惑十悪』と呼ばれています。

昔から、四つ、十違いの夫婦は仲が悪いとされたり、四目十目の仲は、「夜目・遠目・傘の中」と言われ、雨の日や夜は美人に見えるが、昼間に見るとそうでもないという事から「思っていたのと違う」や「仲が悪い」と言われて来ました。

多少のトラブルを生じながらも、一定の距離を保っている状態で表される『破』は、凶作用の中では一番軽い作用を含んだ関係とされますが、トラブルが生じる可能性は確かなので慎重な行動を心がける必要は他の凶作用と変わりません。

多量のトラブルを生じながらも、一定の距離を保っている状態で表される『破』は、凶作用の中では一番軽い作用を含んだ関係とされますが、トラブルが生じる可能性は確かなので慎重な行動を心がける必要は他の凶作用と変わりません。

## ☆凶を吉にする

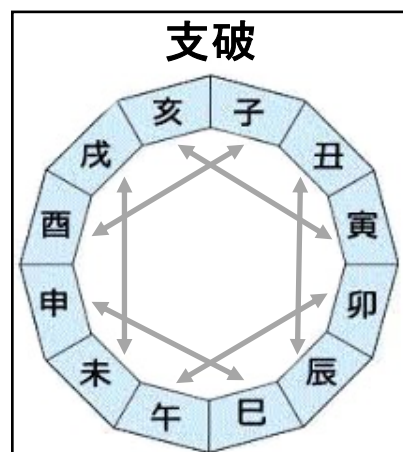
十二支に於ける吉作用の三つと、凶作用の四つを解説して来ました。が、気学においては、悪い運勢や相性が表示されることも多くあります。

一回しかない人生はなるべく楽しく過ごしたいと思うのは皆同じ。

しかし、自分自身生まれ持った「星」の影響を自分の力で変えることは少し困難です。

では、どのようにしたらこの運勢を変えることが出来るのでしょうか。

(次号に続く)





〈連載〉

本泉寺見仏記  
じゅうらせつによ

# 十羅刹女

第6回

## 法華経守護の女神

十羅刹女は法華経陀羅

尼品に登場する十人の女性  
性の鬼神である。

初め、人の精気を奪う  
鬼女であったが、のちに  
鬼子母神とともに、釈尊  
より法華経の話を聞いて  
女人でも成仏できること  
を知り、法華経を所持し  
伝える者を守護すること  
を誓って神女となった。

- 一、藍婆（らんば）
- 二、毘藍婆（びらんば）
- 三、曲齒（こくし）
- 四、華齒（けし）
- 五、黒齒（こくし）
- 六、多髪（たほつ）
- 七、無厭足（むえんぞく）
- 八、持瓔珞（じようらく）

我等亦当に身自ら是の経を受持し読誦し修行せん者を  
擁護して、安穩なることを得、諸の衰患を離れ、衆の毒  
薬を消せしむべし。

### 『妙法蓮華経陀羅尼品第二十六』

- 九、臯諦（こうたい）
- 十、奪一切衆生精气  
(だついつさいしゅじょうせいぎ)

と法華経陀羅尼品に記さ  
れている。

十羅刹女は更に「説法  
者を悩乱せば、頭破れて  
七分に作(な)ること、阿  
梨樹の枝の如くならん」と  
法華経の行者を悩ます  
者に罰を下すことも誓言  
している。

宗祖日蓮大聖人はこの  
陀羅尼品の経文や、ご自  
身の法華信仰と伝道弘通  
の体験の中から、必然的  
に十羅刹女とその母であ  
る鬼子母神を法華行者の  
守護神として篤く信仰さ  
れたのである。  
當山の十羅刹女像は第  
二十三世常在院日泰上人

が明治二十三年の本堂落  
慶に際して新たに造立し  
た像で、前本堂とともに  
焼失した鬼子母神像の再  
興として奉納された十体  
の尊像である。

戦後、第二十六世實相  
院日浩上人の代に、塗り  
替え修復作業が行われた  
ようであるが、その修復  
過程は完全であったとは  
言い難く、現在では尊像  
の劣化が激しく、彩色や  
截金などが剥がれ落ちて  
残念な状態にあると言わ  
ざるを得ない。

像の数が多く、修復に  
かかる費用を捻出する事  
は難しいが、本泉寺を守  
護する女神として、あり  
し日の美しい姿を取り戻  
さなければならぬので  
ある。



十羅刹女立像  
像高 三十 cm  
全幅 十一 cm  
奥行 七 cm

※一体のみ光背の取り付け位置の差があり  
像高が低いものがある



## お寺の掲示板



### 紫陽花寺と呼ばれたい

本泉寺の境内には紫陽花の鉢植えが多く栽培されています。  
 今年も参詣の皆様楽しんで頂ければと参道に並べてみました。  
 色鮮やかな花々を見ると、梅雨の憂鬱を少しばかり忘れることが出来ますね。  
 「紫陽花寺」と呼ばれる有名寺院には程遠いですが、楽しんで頂ければ幸いです。



卯は周囲からの注目の的になるから、自分の力を大いに発揮しよう。寅と巳の凶作用は小さいから気にしなくても大丈夫。

大吉・卯	五黄殺・なし
小吉・午、未	暗剣殺・なし
凶・寅、巳、申	月破・東南



午は本来、大吉の関係になるんだけど、五黄殺と月破の作用があるから無理は禁物。寅は吉神の助けで絶好調になるよ。

大吉・寅	五黄殺・東南
吉・卯	暗剣殺・北西
凶・丑、辰、未、酉	月破・東南



辰は発展の作用が出て物事が大きく進展するけど、思っていたほどの成果は見込めないかも。周りの意見を大切にしよう。

大吉・丑、巳	五黄殺・東
末吉・辰	暗剣殺・西
凶・卯、戌、子	月破・東



子は南に回って吉神の影響が出るから、勉強に励むと結果が出るよ。寅と亥は仕事での失敗が出るから気をつけて。

大吉・子、辰	五黄殺・南西
小吉・丑、巳	暗剣殺・北東
凶・寅、亥	月破・北東



卯は物事が良く整う月になるから準備はしっかりやろう。亥は小吉だけと吉凶の両面が出やすいから注意は怠らないこと。

大吉・卯	五黄殺・北
小吉・寅、午、亥	暗剣殺・南
凶・丑、戌、子	月破・北東

星の神様 妙見くんに聞いた

## 干支九星吉凶予報

令和6年の  
下半期予報



妙見くん ©



# 一切衆生に佛性あり

## 法華經を持たば

### 必ず成仏すべし

【松野殿御返事】

純粹にお題目を信仰する「信力」と、それを  
持ち続ける「念力」。この二力をもってお題目  
を受持する事が「法華經の信心」です。

もろく弱い私たち人間にとって、無垢の信仰  
を貫き通すことは、決して容易いことではあり  
ませんが、私たちは、日蓮大聖人の教えに順じ  
強盛の信心を貫徹するよう精進していかなけれ  
ばなりません。

心静かに手を合わせ、お題目をお唱えすれば  
全ての人々の内に備わる「仏の種」が芽を出し  
お釈迦様の真の仏子として導かれるのであると  
日蓮大聖人は教えています。

# 七月以降の年中行事

○孟蘭盆施餓鬼大法要

八月三日（土）

○秋季彼岸会法要

九月二十二日（日）

○宗祖日蓮大聖人御会式

十月十二日（土）

○開運大黒天祭

八月二十八日（水）

十月二十七日（日）

○開運妙見大菩薩御開帳

毎月一日

## 茶坊主の 小部屋

●表紙の写真は今年の春に行われた信行道場の  
写真で、この道場で先生を務められた後輩僧侶  
から送られてきた一枚である。この姿を見ると  
自分が道場生だったあの頃を思い出す。  
「初心忘るべからず」とはこの事だろう。



第9号は令和6年  
冬発刊の予定です

発行



HONSENJI

日蓮宗 妙福山 本泉寺

埼玉県八潮市二丁目1472-1

TEL:048-996-9843

FAX:048-999-1884

mail:info@honsenji.jp

